

2021 年 2 月 14 日

報道関係各位

石油資源開発株式会社
コーポレートコミュニケーション室
(Tel: 03-6268-7110)

福島県沖を震源とする地震による当社の被害・対応状況について

(2021 年 2 月 14 日 (日) 14 時 30 分現在)

昨日 2 月 13 日 (土) 23 時 8 分ごろに発生した、福島県沖を震源とする地震の当社の被害・対応状況につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

1. 当社国内油ガス田（北海道・秋田県・山形県・新潟県）：生産継続中

当社の国内油ガス田 10 か所は、通常の生産操業を継続中です。また、生産するガスについても、通常どおり当社のガスパイプライン網へ供給中です。

2. 当社ガスパイプライン網（新潟～仙台間および福島県・山形県への支線を含む）：ガス供給継続中

当社の新潟・仙台間ガスパイプラインを中心とする国内ガスパイプライン網は、リモート監視システムでの安全が確認できていたことから、地震発生後も通常操業を継続し、ガスを供給中です。また現在、パイプラインや付帯設備の目視などによる点検も進めており、これまでに操業に支障のある損傷・損壊は確認していません。

3. 当社相馬 LNG 基地（福島県相馬郡新地町）：操業停止中（再開時期未定）

地震発生後、安全確認のため当基地設備の操業を停止し、当基地で管理する液化天然ガス（LNG）の供給業務を停止しています。現在は、当基地設備の被害状況の確認を進めており、操業再開については現時点で未定です。

なお、当基地からのガス漏れなどによる周辺への被害はありません。また、地震発生直後の供給業務停止にともない、LNG 貯蔵タンク内で貯蔵中の LNG の一部が気化したガス（BOG：ボイル・オフ・ガス）を安全に放散する措置として、BOG の燃焼を行っています。そのため、基地内設備（フレアスタック）から炎が発生していますが、当基地ならびに周辺地域の安全への問題はありません。

4. 福島ガス発電株式会社（FGP） 福島天然ガス発電所：運転停止中（再開時期未定）

地震発生後、発電設備は自動停止し、現在も運転を停止しています。また現在は、FGP により、発電所内の設備などの確認・点検を進めている状況です。

なお、当社相馬 LNG 基地の操業停止にともない、当発電所への発電燃料となる LNG 気化ガスの供給も停止しています。そのため、発電所の運転再開については、現時点では未定です。

操業、運転を停止している設備などにつきましては、状況ならびに再開に向けた確認を進めてまいります。ただし、確認結果によっては、再開までに時間を要する可能性もございます。

当社は引き続き安全を最優先に、停止中施設・設備の操業および運転再開を目指し、取り組んでまいります。

以上

・添付：(参考資料) 福島ガス発電(株)2021 年 2 月 14 日付プレスリリース「福島県沖を震源とする地震による福島天然ガス発電所の被害・対応状況について (2021 年 2 月 14 日 (日) 14 時 30 分現在)」



2021 年 2 月 14 日

報道関係各位

福島ガス発電株式会社

福島県沖を震源とする地震による福島天然ガス発電所の被害・対応状況について

(2021 年 2 月 14 日 (日) 14 時 30 分現在)

昨日 2 月 13 日 (土) 23 時 8 分ごろに発生した福島県沖を震源とする地震による、当社福島天然ガス発電所 (福島県相馬郡新地町) の被害・対応状況についてお知らせいたします。

福島天然ガス発電所は、1 号機、2 号機ともに、地震発生にともなう自動停止後、現在も停止しています。発電設備への大きな損傷・損壊はないものの、発電所全体の設備の詳細点検を進めている状況です。

また、発電燃料となる液化天然ガス (LNG) の貯蔵と気化、送出業務を委託する、石油資源開発株式会社 (JAPEX) の相馬 LNG 基地 (福島県相馬郡新地町) の操業停止にともない、本発電所への燃料供給が停止しています。

上記事由から、本発電所運転再開時期は、1 号機、2 号機ともに現時点では未定です。引き続き安全を最優先に、運転再開を目指し対応してまいります。

【参考：福島天然ガス発電所 概要】

名 称	福島天然ガス発電所
所 在 地	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神 161-3 (相馬港 4 号埠頭)
敷地面積	約 10 ヘクタール
発電方式	ガスタービンおよび汽力 (ガスタービン・コンバインドサイクル (GTCC) 方式)
出 力	118 万 kW (59 万 kW×2 基)
燃 料	天然ガス (液化天然ガス : LNG を気化) ※発電燃料 LNG の保管と気化・送出業務は、本発電所に隣接する JAPEX 相馬 LNG 基地へ委託
熱効率	発電端効率 約 61% (低位発熱量基準)
運営主体	福島ガス発電株式会社 ※石油資源開発(株)、三井物産(株)、大阪ガス(株)、三菱ガス化学(株)、北海道電力(株)の 5 社が出資する特別目的会社

以上